

日本医歯薬専門学校 2023年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者: 今井 哲也

日 時	2023年5月21日(日) 10:00 ~ 12:00
場 所	日本医歯薬専門学校 2階 201.202 教室・Online(ZOOM)
目 的	保護者、地域住民、業界、卒業生の代表者委員により、教育活動やその他学校運営の状況について評価を行う。この評価を、今後の学校経営や教育活動の改善に反映するとともに、広く公表するために実施する。
出 席 者	<p>●学校関係者評価委員会 委員</p> <p><保護者代表> 熊谷 いず美 (歯科衛生士学科Ⅰ部2年 熊谷 美咲 保護者)</p> <p><保護者代表> 三村 久美子 (視能訓練士学科Ⅰ部2年 三村 つぐみ 保護者)</p> <p><地域代表> 糟谷 一 (高円寺中央地区町会連合会会長、高南二丁目町会会長他)</p> <p><高等学校代表> 及川 勉 (昭和第一学園高等学校 理事)</p> <p><卒業生代表> 下里 保奈美 (歯科衛生士学科Ⅱ部 卒業生)</p> <p><業界代表> 東 恵子 (杉並区眼科医会 会長)</p> <p><業界代表> 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問)</p> <p><業界代表> 篠原 陽子 (日本チェーン・ドラッグストア協会 H&B 人材育成センター 事務局長)</p> <p><業界代表> 長面川 さより (株式会社ウォームハーツ 代表取締役)</p> <p>●学校法人東京滋慶学園 日本医歯薬専門学校 教職員</p> <p><理事長> 中村 道雄</p> <p><学校長> 須田 英明</p> <p><顧問> 近藤 健示</p> <p><理事> 小川 昭久</p> <p><事務局長> 関口 崇之</p> <p><教務部長> 富田 恒雄</p> <p><登録販売者学科 学部長> 豊島 義人</p> <p><歯科衛生士学科 学科長> 星野 悠</p> <p><視能訓練士学科 学科長> 今井 哲也</p> <p><学生サービスセンター センター長> 保科 英俊</p> <p><キャリア業界連携センター センター長> 今井 恭平</p>
議 題	進行: 富田 恒雄
1. 学校関係者委員紹介	富田 恒雄 ※上記参照
2. 学校職員紹介	富田 恒雄 ※上記参照
3. はじめに	<p>須田 英明</p> <p>2010年1月15日に新型コロナウイルスが確認されてからようやく落ち着いてきた現状ではあるが、今もなお静かな緊急事態の状態にある。</p> <p>2070年の人口は8700万人まで減少するという報告が出ている。</p> <p>そういった難しい時代を生き抜くためにも医療系のライセンスを取得してもらいたいと考えて日々の業務を行っている。</p> <p>今回の委員会では実学教育・人間教育・国際教育や卒業生・学生・保護者・高等学校・地域社会・業界からの信頼を獲得できているかを確認していきたい。</p>

<p>4. 会の目的について</p>	<p>小川 昭久</p> <p>2013年に「職業実践専門課程」の認定校を定めるために必要な会議となっている。</p> <p>内部だけではなく、外部の方に情報を開示し、ご意見をもらいながら教育の質を担保するために行われている。</p> <p>全国的には2800校中1070校が認定を受けている</p> <p>滋慶学園グループでは90%以上の学校が認定を受けている。(卒業生が必要)</p> <p>業界の方からカリキュラムの提言や改善点を頂戴し、学校運営に生かしていく (教育課程編成委員会)</p> <p>学校の運営に関して学校側が自己評価した内容に対してご意見を頂戴する (学校関係者評価委員会)</p> <p>本日のご意見は次年度以降の事業計画に反映をしていく。</p> <p>質の高い職業人教育を行っていくために必要な委員会となっている。</p>
<p>5. 2022年度自己点検・自己評価報告</p>	<p>関口 崇之</p> <p>評価の流れと評価の付け方についての説明</p> <p>「自己点検・自己評価」</p> <p>1次評価として「自己点検・自己評価」を学校内部で行った。</p> <p>⇒項目は文部科学省の定める評価項目すべてで行う。</p> <p>本日は2次評価として委員の皆さんに確認をしていただく。</p> <p>⇒大項目(10項目)に対して評価とコメントの記入を行う。</p> <p>各項目の後に質疑応答の時間があるので何かあれば忌憚なくご質問頂きたい。</p> <p>【基準1】関口 崇之</p> <p>理念・目的などが明文化されているか。</p> <p>滋慶学園グループは「職業人教育を通して社会に貢献する」というテーマを掲げている。</p> <p>実学教育・人間教育・国際教育の3つの柱をもって教育を行っている。</p> <p>2023年4月のIT分野での専門職大学を江戸川区に設置した。</p> <p>【基準2】関口 崇之</p> <p>学校運営の基盤を定めているか。</p> <p>学園グループ統一のフォーマットを用いて新年度の半年前から事業計画を立て学園理事会の承認を受けて運営をしている。</p> <p>本日、参考資料として事業計画書がありますので休憩中などにお目通し頂きたい。</p> <p>運営組織に関しては運営会議にて各セクションのマネージャーで意志決定を行い、教務部・事務部の全スタッフに伝達されていく。</p> <p>専任教員:25名 非常勤教員:107名</p> <p>【基準3】富田 恒雄</p> <p>3-9-1～3-9-4を主に紹介をさせて頂く。</p> <p>通常授業のみでは知識定着が未熟な学生も多くなってきている。</p> <p>視能訓練士学科では放課後の時間を使い、プライベートレッスンにて個別対応を行うことで知識定着を目指している。</p> <p>今年度から全学科で広く展開していくこととなった。</p> <p>セミナーや個別支援・学習動画を使って支援していく。</p>

【基準 4】富田 恒雄

4-13-1 就職率の向上

担任とキャリア業界連携セミナーの 2 部署でサポートしている。

就職希望者:177 名

内定:177 名

第 1 専門職:174 名

支援体制としてスマートフォンを活用して基本的な質問は 24 時間自動解答で対応が行える。

求人票に関してもこれまで紙で学校に保管していたが、基本情報や過去の履歴をアプリから検索・確認できるようになった。

4-14-1

2022 年度の国家試験の合格実績は過去と比較しても低くなってしまった。

国家試験に向けての取り組みとして 3 年次に学習スケジュールの作成や模擬試験からの補講を行いながら後半には少人数の対象者に対してチューター制度を取り入れている。

学園グループとしてもアプリなどで対応していく。

【基準 5】豊島 義人

2022 年度の実績

611 名の総在籍数

退学者数:29 名(退学率 4.7%)

過去 2 年から減少傾向にあるが、さらに減少をさせる取り組みを行う。

学生をサポートするために各部署は研修を受けながら体制の強化を行っている。

イシヤクとしての取り組みとしては相談機能として学生相談室を設置し、専門のカウンセラーに対応してもらっている。別日程ではキャリアカウンセラーとの面談も用意している。

グループの全教職員に対してカウンセリングの研修を受講し、全教職員が認定証を取得し学生の対応を行っている。

学生サポートハンドブック用いて幅広い学生対応を学んでいる。

会場に実物を準備しているので休憩時間にお目通し頂きたい。

【基準 6】保科 英俊

学習教育環境においては臨地臨床実習では

歯科衛生士学科 162 施設・視能訓練士学科 80 施設を登録している。

コロナの影響下でも無事に実施が行えた。

学生・教員のそれぞれに防災訓練を行った。

消火器・AED の使用方法など・・・

先端技術利活用実証研修

AR・VR を用いた教育方法の研究を行っている。

知識を立体的にとらえることが苦手な学生に対して AR・VR で教育効果を高められないかを研究している。

2022 年度から実際の授業に導入し、学生からの評価を受けて改善を行っている。

【基準 7】関口 崇之

学生募集に関しては手元資料の「入学案内・パンフレット・募集要項」をご確認頂きたい。

7-26・7-27 に対しては募集要項にて説明を行っている。

7-25-2 に関しては LINE を活用して情報提供を行っている。

定期的なオープンキャンパス情報の配信やデジタルパンフの確認や動画の視聴が行えるようになっている。

受験生が比較的多く利用している A0 入試に対しても YouTube にて対策動画を配信している。

様々な生活環境の中でも進路選択が行えるように対策を行っている。来校の有無に関わらず学校のことを知ってもらえる環境を整えている。

2023 年度入学生に関しては定員に未達であった。

夜間学科を中心に学生募集に課題を抱えている状態となっている。

【基準 8】関口 崇之

8-31-1 に関しては学校ホームページより情報公開を行っている。

財務運営は問題なく行えている。

【基準 9】保科 英俊

9-34-4 に関しては学校ホームページより情報公開を行っている。

〈研修一例〉

IT リテラシー・学校教育にかかわるコンプライアンス・合理的配慮・各種ハラスメントに関する研修を職員全体で受講を行っている。

今後も継続して研修を行っていく。

【基準 10】富田 恒雄

10-36-1

コロナウイルスの影響で外部での教育が行いにくい状況であったが、少しずつ外部での活動ができるようになっている。

6. 2023 年度の重点
課題

関口 崇之

昨年の学校関係者評価委員からのご意見をもとに事業計画を作成している。

教育テーマ:「環境変化と学生(受験生)の価値に合った教育価値を創造し、教育の ICT 化・DX 化の推進を通じて、「個別最適化」を実現する」

設定背景として 18 歳人口が年々減少傾向にあり、2022 年時点で 112 万人となっている。

今年度の出生率は 80 万人を下回ったという報告も上がっている。

このような環境下において大学:55%専門学校:16.7%の進学となっている。

日本医歯薬専門学校においては高校からだけではなく、様々な環境にある方の再進学を応援するためにも「個別最適化」することが重要と考えている。

「効果的な学び」「効率的な学び」「個別最適化された学び」を学校の価値として実施する。

教育資料に関しても教科書以外の配布資料は Teams を活用してデータ化している。

学校への申請物に関してもオンラインでの申請システムを導入している。

教育システムの ICT 化を通じて様々なデータを教育の質向上に向けて活用する。

7. 質疑応答

Q:下里)最近、地震が多くなってきている中で学校として何か対策や教育があるといいのではないか。

A:)今年度からアプリにて安否確認を行うように学園全体で対策をしている。万が一の際には位置情報の使用や通話機能の含んだアプリを開発している。

一人暮らしの学生に対してはオンラインにて災害時の行動についての指導を行っているが、引き続き対応を行っていく。

Q:下里)学生のストレスや負担が軽減されていると思われるが、先生方への負担が大きくなっているのではないかとと思われる。先生方の業務軽減に向けても活用できるといいのではないか。

A)卒業生が現場で経験を重ねた後に教育現場に来てくれることが望ましいが、印象として業務量の多さから敬遠されがちになっている。36協定の徹底やストレスチェックを実施することで早期対応できる体制を整えているが、今後も環境整備には配慮していく。

Q:下里)夜間部の希望者が減少しているのは利点が無くなっているのではないか。

A)昼間部の設定により、夜間部の利点が弱くなっているのは事実。

夜間に通うことで今行っている昼間の活動を継続しながら学校に通うことができることを大切にしていく。

そのためにも、臨床実習に関しても「選択臨床実習」として夜間診療での実習を選べるようになった。

Q:篠原)プライベートレッスン。学生とのコミュニケーションを取る手段としては有効だと思われる。昨年、どの程度の学生が使用しているのか。

A)今年度実施している業界セミナーは予想参加者を大きく上回った参加希望者が来ていることからニーズは高いのではないかと考えている。

昨年度は一度に4~5名程度が通常で定期試験前などには大きく増える傾向にある。

Q:篠原)時代に合わせたツールをたくさんできているが使用に関してのルールがきちんと設定できているか。対策があればどうしているか。

A)現状でまだ学園としても方針を検討中ではあるが、文部科学省から方針が出るのを待つ状態。

レポートに関しては提出のみではなく、口頭試問を追加するなど検討しているがまだ、実装はされていない。

⇒参考にするのはとてもいいと考えている。自分の学習につながるかが大切

提案:長面川)地域貢献として地域の方に向けた講習などを行うといいのではないかと思います。

Q:熊谷)先生と生徒の教科書が異なっていることがあったので間違った内容が伝わってしまった。

A)開講直前に改訂が出ており、授業資料の作成時と教科書が変わってしまった。

現状対応済みで次回の授業から変更される。

三村)学生にたいするサポートがとてもいいと感じた。卒業後も関係性が続きサポートをしてもらえることは入学させる親としてとても心強いと感じた。学生と先生の温かい関係性が入学を検討している方にも伝わるのではないか。

糟谷)旧杉八小が高円寺体育館になったが、1年半後には避難場所として十分に活用できる環境になる。それまでに何か起きたときには医歯薬の方が安全性が確保できていると思われる。

消防署が環7通りに移転、学校で訓練を行う時に消防署や消防団への協力をお願いすることも検討をしていたらと思う。

高円寺阿波踊りに何らかの形でご協力いただければと思う。

	<p>高円寺学園もとてもいい施設なのでぜひ活用をご検討いただければと考える。 IT 化が進んでいる現代だが、手書きの大切さも学生に伝えて頂きたい。</p> <p>及川)学校の性質上、人を大切にしている状況が伝わった。感染症対策下での大変だったことをまとめておくと今後活用できるのではないかと思う。</p> <p>富田)2 コマ授業で心配だったが、プライベートレッスンなどを聞いて安心できた。ICT ツールがどんどんできてきている時代だからこそ、学生と先生は生身の人間としてしっかりと触れ合いを大切にしてもらいたい。</p> <p>東)視能訓練士の卒業生が勤務してくれている。職員が受けてきた教育を知ることができて有意義だった。眼科機械もどんどん進化しており、簡単に測定ができてしまうが、学校では自動化されていない検査の修得を行っていただければと思う。</p>
8. 事務連絡	<p>保科 英俊 提出書類に関して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己点検・自己評価 評価結果及び改善方法の評価を記入 2. 日当交通費 本日提出か 1 週間を目途に返送していただきたい。
9. おわりに	<p>中村 本日はご多用の中ご参加いただきありがとうございました。 皆様から頂戴したご意見をしっかりとまとめて提出をさせていただきます。 業界の動向に即して教育を行っているか。地域に貢献できる教育が行えているか。その他にも財務状況などを報告をしっかりと行えているのは皆様のご支援のおかげと感謝しております。</p>

以上

評価内容及び委員会での意見を踏まえた改善方策について

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

まずは、ICT 教育システムの充実を推進する一方で職業教育機関として、コミュニケーション力の向上を図ることができる教育プログラムの充実も併せて強化していく。

また、チャット GPT に代表される生成 AI の流行に関し、学生の学習及び、将来的に業界にて活躍する際には不可欠なものとして捉え、既存の IT リテラシー教育の中に生成 AI の上手な活用の方法について検討・構築を行う。

その一方で、生成 AI に過剰な活用による学生習熟度の低下に対する懸念への対応については、今後の動向に注視しながら、考査時や課題学習時における生成 AI の活用におけるガイドラインの作成について検討する。